

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 12 月 7 日 (2006.12.7)

【公表番号】特表 2002-532776 (P2002-532776A)
 【公表日】平成 14 年 10 月 2 日 (2002.10.2)
 【出願番号】特願 2000-587256 (P2000-587256)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 9/44 (2006.01)

G 0 6 F 9/46 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 9/06 6 2 0 A

G 0 6 F 9/44 5 3 0 P

G 0 6 F 9/46 3 4 0 B

G 0 6 F 9/46 3 6 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 10 月 20 日 (2006.10.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 デバイス固有非準拠ユーザ・アプリケーションからプロセス制御用 O L E (O P C) 準拠データ・サーバを構成するシステムであって、

コンポーネント・オブジェクト・モジュール (C O M) 準拠の汎用 O P C 準拠インタフェース・オブジェクトと、前記汎用 O P C 準拠インタフェース・オブジェクトと協働するテンプレートとから構成され、前記テンプレートは修正可能であってデバイス固有インタフェース部分と組み合わせて前記デバイス固有非準拠ユーザ・アプリケーションを作成することができ、前記デバイス固有非準拠ユーザ・アプリケーションは前記汎用 O P C 準拠インタフェース・オブジェクトと動的にリンクしアグレゲーションして前記 O P C 準拠データ・サーバを作成することができることを特徴とするシステム。

【請求項 2】 さらにこのクラス・ファクトリは、クラス・ファクトリを備え、

a) オブジェクトのインスタンスを作成し、前記オブジェクトに関して大域的な資源を管理するクラス・ファクトリを備える

b) オブジェクトの複数の関連インスタンスを作成、管理するクラス・ファクトリを備える

c) クラス・ファクトリが自己登録できる

ことを特徴とする請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】 さらに前記汎用 O P C 準拠インタフェース・オブジェクトと関連するキャッシュ・メモリを備え、前記汎用 O P C 準拠インタフェース・オブジェクトが複数の O P C クライアントからの要求に応じて前記キャッシュ・メモリからアイテムを取り出すことを特徴とする請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 4】 さらに前記汎用 O P C 準拠インタフェース・オブジェクトと関連するキャッシュ・メモリを備え、前記汎用 O P C 準拠インタフェース・オブジェクトが前記デバイス固有非準拠ユーザ・アプリケーションを通じてデバイスからアイテムを取り出し、前記キャッシュ・メモリに前記アイテムを格納することを特徴とする請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 5】 さらにアグレゲーションする側の C O M オブジェクトによってインプ

リメントされ、アグレゲーションされる側のCOMオブジェクトによって呼び出されるCOMインタフェースを備えることを特徴とする請求項1に記載のシステム。

【請求項6】 デバイス固有非標準ユーザ・アプリケーションからObject Linking and Embedding (OLE) for Process Control (OPC) 標準データ・サーバを構成する方法であって、

CMO標準の汎用OPC標準インタフェース・オブジェクトを提供するステップと、
テンプレートを修正し、テンプレートをデバイス固有のインタフェース部分と組み合わせて、前記デバイス固有非標準ユーザ・アプリケーションを作成するステップと、

前記デバイス固有非標準ユーザ・アプリケーションを動的に前記汎用OPC標準インタフェース・オブジェクトとリンクして前記OPC標準データ・サーバを作成するステップであって、前記デバイス固有非標準ユーザ・アプリケーションが前記汎用OPC標準インタフェース・オブジェクトにアグレゲーションするステップを備えることを特徴とする方法。

【請求項7】 さらにクラス・ファクトリを提供するステップを具備し、このクラス・ファクトリは、

a) オブジェクトのインスタンスを作成し、前記オブジェクトに関して大域的資源を管理するステップ

b) オブジェクトの複数の関連インスタンスを作成、管理するステップおよび

c) 前記クラス・ファクトリでオブジェクトを自己登録するステップ

を有することを特徴とする請求項6に記載の方法。

【請求項8】 さらに前記汎用OPC標準インタフェース・オブジェクトとキャッシュ・メモリを関連付けるステップを含み、前記汎用OPC標準インタフェース・オブジェクトが複数のOPCクライアントからの要求に応じて前記キャッシュ・メモリからアイテムを取り出すことを特徴とする請求項6に記載の方法。

【請求項9】 さらに前記汎用OPC標準インタフェース・オブジェクトとキャッシュ・メモリを関連付けるステップを含み、前記汎用OPC標準インタフェース・オブジェクトが前記デバイス固有非標準ユーザ・アプリケーションを通じてデバイスからアイテムを取り出し、前記キャッシュ・メモリに前記アイテムを格納することを特徴とする請求項6に記載の方法。

【請求項10】 さらにアグレゲーションする側のCOMオブジェクトによってCOMインタフェースを実装し、アグレゲーションされる側のCOMオブジェクトによってCOMインタフェースを呼び出すステップを含むことを特徴とする請求項6に記載の方法。